

扶養者を亡くした学生への援助 大学生協の「勉学援助制度」

3,713名に5億7,660万円の援助ができました。

(1992年4月～2017年9月)

大学生協の「勉学援助制度」とは

学生総合共済(生命共済AF型)では、扶養者が事故で亡くなった場合、一括払いまたは分割で500万円の共済金が給付されますが、病気等の場合は20万円のみで給付となっています。病気等で亡くなった場合の学業継続のために何かたすけあいができないだろうかと25年前に検討した結果、1992年に学生、教職員などからの寄付をもとに緊急の援助として「勉学援助制度」が創設されました。その後、何度か給付基準を見直しながら、現在は、返還不要の援助金として、対象者には一人当たり10万円をおおくりしています。

2005年に、扶養者が病気死亡の場合、学資費用を保障する扶養者

病気死亡保障保険を保険会社と団体契約し、共済とあわせておすすめすることになりました。現在は病気死亡と事故死亡、事故重度後遺障害の場合に学資費用を保障する扶養者死亡保障保険になっています。

しかし、学生総合共済および扶養者死亡保障保険へ加入していない方もまだ多く、また、扶養者死亡保障保険でも保障されないケースもあり、勉学援助制度独自の役割は引き続き大きいといえます。学生総合共済・学生賠償責任保険とあわせて、多くの方に扶養者死亡保障保険に加入していただくことを呼びかけるとともに、「勉学援助制度」の普及と寄付にお力添えをお願いいたします。

給付を受けた学生の声

今まで当たり前であったようなことが、今では特別なことであり、多くの人に支えられていることに気付きました。今まで以上にお金の心配をし、大学に通い続けることができるか不安になりました。勉学援助金は学費の一部として使いたいと考えております。

皆様のおかげで、夢に向かって学び続けることができます。皆様の温かなお気持ちに支えられていることを忘れず日々勉学に励みたいと思います。応援して下さい方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

これから多く多くの学生が夢や目標に向かって前進できるよう、このような制度を継続していただきたいと思います。いつの日か、私も援助金を贈る立場になれたらと思っています。(東洋大)

まずは寄付をして下さる方々に「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えたいです。落ち込んでいた中、このような形で手を差し伸べて下さると勇気が出てきます。皆さんにいただいたお金を無駄にすることなく大切にしていきたいです。自分の親が亡くなってから、自分のやるべきことが増えたというのが実状です。いかに親が自分に尽くしていたかよくわかりました。しかしながら、数年後には自分自身でやらなければいけないことなので、学生のうちから自分自身ですることには大変であるけれども、ある意味貴重なのかなと思います。援助金は教科書代に使わせていただく予定です。(岡山大)

援助金を送ってくださることについては、もちろん感謝の言葉も出ないほどありがたく感じます。そして何よりも嬉しく思うのは私をはじめ扶養者が亡くなり生活が大きく変化してしまった者を気にかけてくださる方がいること自身であり、そういった方々がいることで気持ちが前向きになります。本当にありがとうございます。(京都大)

父が亡くなってから、お金の面や生活の面での不安が大きかったのですが、このような制度があることを知ってからは不安が軽減されたように思えます。また、自分以外にも同じような境遇の人や勉学援助金を送ってくださる人がいることを知り、とても励みになりました。感謝しています。(和歌山大)

この度は、勉学援助金のお力をいただきありがとうございます。お金だけではなく他の大学生活の中でも相互扶助、協力のありがたさを身にしみて感じました。これからも大学生活を悔いなく過ごしたいと思います。父が亡くなった為、今まで当たり前だと思っていた生活費などや自分の学費までもが奨学金を借りたりアルバイトを増やしたりしなければならないことです。勉学

援助金は学費や他にいる資格や就職活動の費用にしようと思っています。自分にとって、そして誰にとっても親を亡くすということは人生の中で一番辛いことだと思いますし、私も自分が大学生のうちに父が亡くなるという事など思ってもみませんでした。乗り越えなければならぬ課題、父を亡くした悲しみ、たくさんありますが大学に通い続けられることへの感謝、そこから得られる力で、この状況を乗り越えたいと思います。(立命館大)

父の死は突然の出来事であったため、家族の中では悲しみよりも疑問と見捨てられた不服のような感情でいっぱいでした。弟は大学受験を控えており余裕はありません。援助金は生活費に充てます。家計と精神的ダメージの負担を減らし、家庭がゆとりのある生活を取り戻したいです。父が亡くなってから勉学援助の存在を知りました。全国に私を「お金」という形で支えてくれる仲間がいると考えると、とても気持ちが楽になります。ありがとうございます。(信州大)

母が一人になってしまったので家が寂しくなったので実家に帰る回数が増えました。援助金は帰省費や学費に充てたいと思っています。今、このような援助金を頂けるのは非常にありがたいです。これからの人生、人との繋がり、助け合いを大切に、僕も誰かを助けられるような人間になりたいと思います。この制度が無くならないことを願っています。(東北大)



大学の掲示板でも紹介していただいています。

困っている学生の学業継続を助け、たすけあいの心が広がっています。

2017年度は206名に2,046万円を給付 1992年に開始以来、総計3,713名の学生に5億7,660万円を給付

勉学援助制度の応募者は、毎年300名を超えますが、財源の関係から、給付できるのはその約半数にとどまっています。より多くの方へ給付するためには、なんといっても財源の拡大が必要です。この制度は、共済・保険の制度とは異なり、掛金等で運用する制度ではないため、みなさんからの寄付が頼りです。

勉学援助制度
普及ポスター
イメージ
キャラクター より



毎年多くの会員生協で卒業生からの寄付に取り組んでいただいており、2017年度は、全国の組合員および卒業生、大学関係者などから1,573万円の寄付が集まりました。また賛助会費が1,376万円集まり、合計2,949万円を給付のための財源とすることができました。引き続きより多くの寄付をお寄せいただくことで、より多くの応募者に給付できることをめざしています。

2017年度の給付実績(2016年10月～2017年9月)

		2016年度	2017年度
応募	応募人数	374人	334人
給付	給付人数	205人	206人
	給付金額	2,030万円	2,046万円
寄付	寄付金額	2,384万円	2,949万円

これまで以下に以下の大学生協の学生組合員に勉学援助金をおくりました。(1992年～)

(単位:人)

給付	給付	給付	給付	給付	給付	給付	給付
北海道大 33	宮城学院 10	東邦大 9	日本獣医生命科学大 1	名古屋市立大 6	滋賀県立大 4	甲南大 22	福岡教育大 4
北海学園 24	弘前学院 1	東京海洋大 3	明治薬科大 5	愛知県立大 7	滋賀大大津地区 7	兵庫県立大 18	九州工業大 34
酪農学園 20	みやぎインカレコープ 5	横浜国立大 32	群馬大 14	日本福祉大 21	滋賀大彦根地区 5	神戸薬科大 1	北九州市立大 31
札幌学院大 19	岩手県立大 1	横浜市立大 5	高崎経済大 23	岐阜大 14	京都橘学園 9	神戸親和女子大 11	佐賀大 40
北星学園 13	埼玉大 22	東京工業大 8	宇都宮大 8	三重大 27	奈良女子大 6	園田学園女子大 6	宮崎大 11
北海道教育大 10	跡見学園女子大 7	明治学院 34	足利工業大 5	三重短期大 4	奈良教育大 6	大手前大 10	鹿児島大 52
札幌大 28	東京外国語大 13	首都大学東京 18	茨城大 23	中京大 61	奈良県立大 3	甲南女子大 7	琉球大 24
小樽商科大 5	お茶の水女子大 8	日本社会事業大 3	茨城リハ教学園 8	名城大 3	奈良工業高専 2	香川大 26	沖縄大 2
室蘭工業大 18	東京医科歯科大 3	東京農業大 31	信州大 42	岐阜市立女子短大 1	大阪樟蔭女子大 1	四国学院 12	福岡女子大 4
帯広畜産大 6	武蔵学園 12	芝浦工業大 28	長野大 7	自然科学研究機構岡崎 1	滋賀医科大 2	高知大 21	九州大 44
北見工業大 12	東京芸術大 6	神奈川大 54	長野県短期大 3	金城学院大 11	大阪インカレコープ 5	松山大 32	西南学院大 11
釧路公立大 2	日本女子大 9	昭和大 7	新潟大 47	愛知県立芸術大 2	近畿大 67	愛媛大 44	長崎県立佐世保校 11
公立はこだて未来大 3	東洋大 27	東京工芸大 15	山梨大 9	インカレ愛知 2	大阪経済大 23	広島大 52	長崎大 18
弘前大 27	大東文化学園 25	東京工業高専 2	新潟県立大 2	静岡文化芸術大 1	大阪教育大 16	広島修道大 30	熊本大 39
岩手大 27	十文字学園 4	東京経済大 28	新潟青陵・短期大 1	富山大 21	大阪府立大 14	徳島大 43	大分大 23
秋田大 19	淑徳大みずほ台 2	東京学芸大 29	長野県看護大 1	金沢大 26	阪南大 9	下関市立大 10	福岡県立大 6
東北大 52	法政大 72	東京農工大 13	松本大 4	福井大 17	大阪大 62	鳥取大 28	純心大 4
東北学院大 50	東京大 46	電気通信大 8	山梨県立大 3	富山高専 2	大阪電気通信大 15	水産大学校 4	南九州学園 6
東北工業大 4	早稲田大 141	東京薬科大 12	前橋工科大 1	京都大 50	和歌山大 12	岡山山 32	九州国際大 7
宮城大 6	慶応義塾 47	一橋大 11	東京インカレコープ 44	同志社 78	大阪市立大 19	山口大 28	長崎県立シガハ校 1
宮城教育大 4	東京理科大 32	津田塾大 9	静岡大 47	立命館 127	大阪千代田短期大 2	高知県公立大 6	立命館APU 11
山形大 43	東京電機大 17	白梅学園 2	愛知大 41	京都府立医大・府立大 7	和歌山県立医科大 1	梅光学院大 4	熊本インカレアカデミア 3
福島大 15	工学院大 18	和光学園 7	名古屋大 39	龍谷大 73	神戸大 43	島根大 10	西南女学院大 1
尚絅学院大 3	千葉大 38	桜美林学園 18	愛知教育大 24	京都教育大 11	関西学院大 46	松山東雲女子・短期大 1	その他 55
盛岡大 15	千葉商科大 8	麻布大 5	名古屋工業大 7	京都工芸繊維大 15	神戸外国語大 9	福岡インカレ 5	合計 3,713

「勉学援助制度」を支える賛助会員を募集しています。

勉学援助制度をより充実させ、一人でも多くの学生を援助できるように賛助会員制度を設けています。趣旨にご賛同いただき、ご登録いただけるようお願いいたします。賛助会員は個人会員1口2,000円、法人会員1口10,000円です。いずれも1口以上でお願いします。

振込先
口座

郵便局から振り込む場合

ゆうちょ銀行 口座番号 東京 00180-2-562063
加入者名 「大学生協勉学援助制度口」

他行からの場合

店名 「〇—九 店」 店番 019
フリガナ 「ゼロイチキョウ」 預金種目 2 当座預金
口座番号 0562063

賛助
会
員
募
集

■お問合せ先

166-8532 東京都杉並区和田3-30-22
全国大学生生活協同組合連合会
勉学援助制度推進委員会 事務局

TEL 03-5307-1166

FAX 03-5307-1129